

# 未来の空間創造プロジェクト

## *the 1st Furlong* 【概要版】

— 東京都競馬株式会社 中期経営計画 2030 —

2025.12

東京都競馬株式会社

# 中期経営計画2030の概要

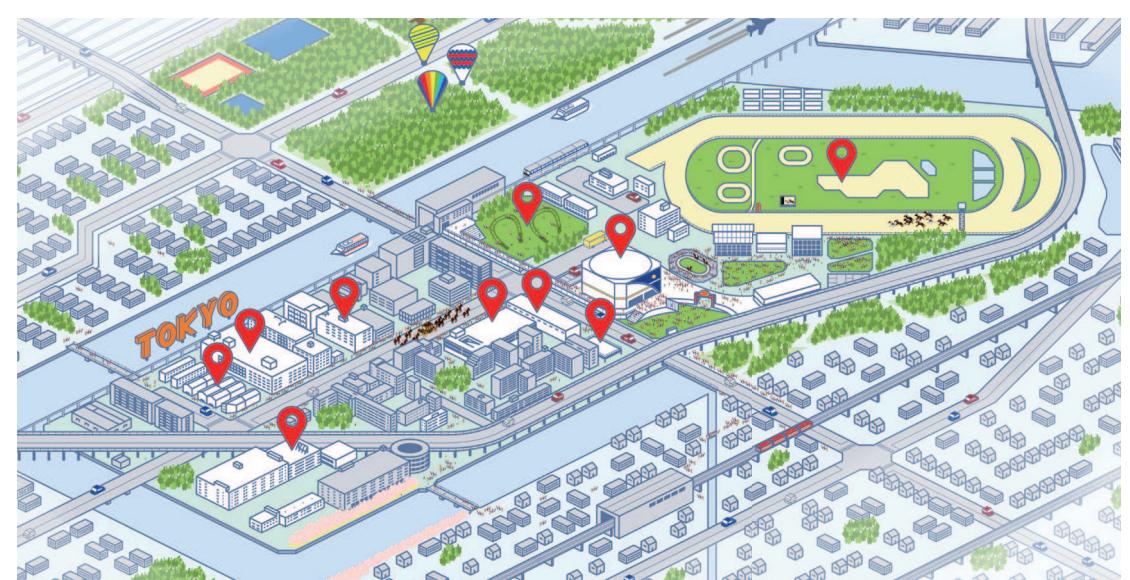
- ・「笑顔あふれる“まちづくり”を牽引する空間創造企業」（長期経営ビジョン2035）として持続的に発展
- ・大井競馬のさらなる振興（新トレーニングセンターなどSPAT4進化など）と都心型エンターテインメント競馬場の実現により、新たな体験を創造
- ・誰もが夢中になる観光拠点である競馬場を核として、大井エリア（勝島）においてベイエリアを象徴する魅力的なまちを実現

これからの5年間を「実現に向けた礎を築く期間 “the 1st Furlong”」と位置付け、下記3点の経営戦略を推進

## 経営戦略

- 1 公営競技のモデルケースとしての大井競馬のさらなる振興に注力
- 2 ランドマークとなり、世界に誇れる都心型エンターテインメント競馬場を創造
- 3 大井競馬場とその周辺に位置する資産のポテンシャルを最大限発揮し、人が集う空間をデザイン

## 当社グループが目指す未来のまちのイメージ



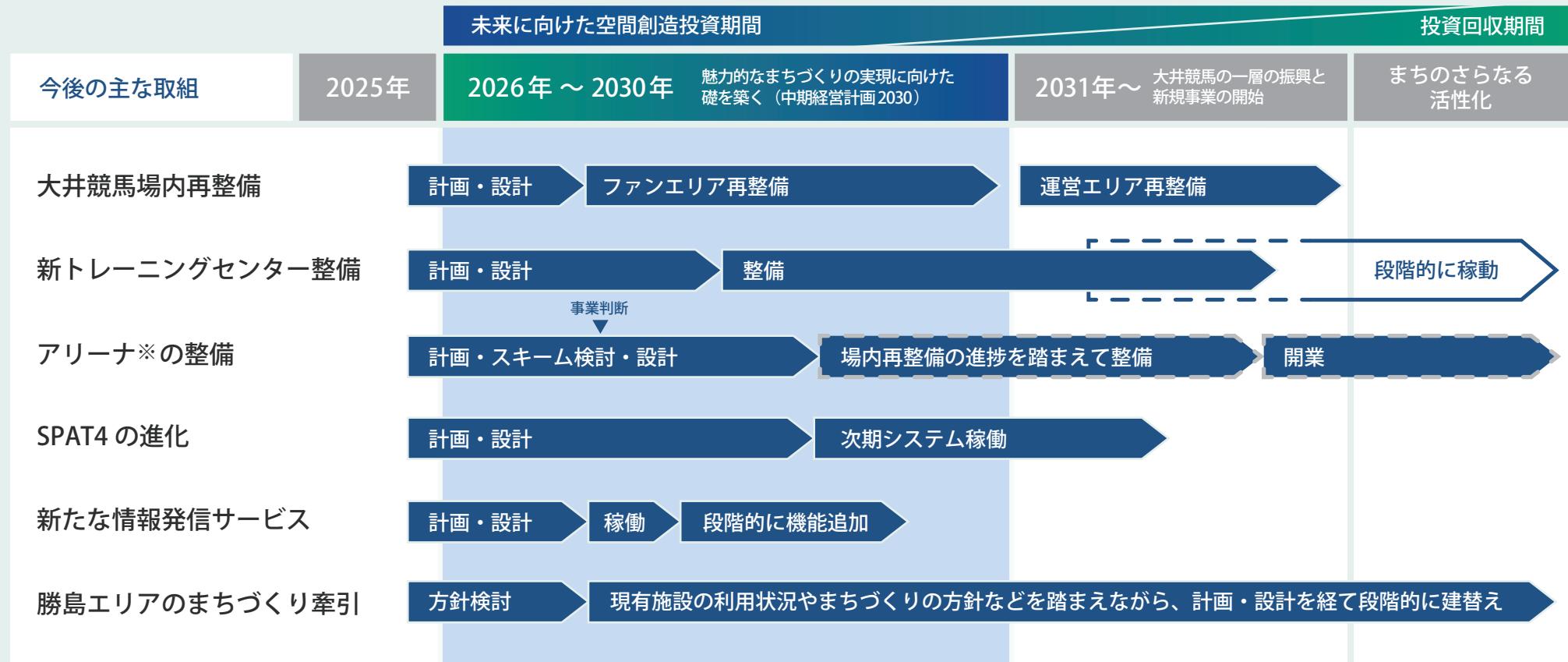
## 本計画期間 の目標

- ・未来に向けた空間創造投資によって着実に成長（売上高：年平均 +3% 程度、営業利益：年平均 +5% 程度）
- ・財務健全性を維持しながら、必要な投資の実施と株主還元の充実を両立

思い描いた未来へ仕掛けるプロジェクトがいよいよ幕を開けます。まず最初の区間 “the 1st Furlong” を、全力で走り抜けます。

※ Furlong (ハロン) : 距離を示す用語（競馬では、1ハロン=200メートル換算で用いられており、the 1st Furlongはスタートして力強く走り出す最初の区間です。）

# 中期経営計画2030の基本方針

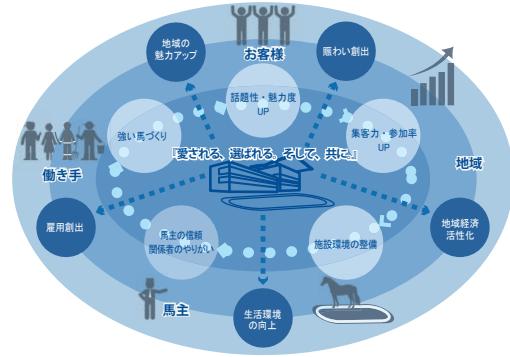


1 公営競技のモデルケースとしての大井競馬のさらなる振興に注力	2 ランドマークとなり、世界に誇れる都心型エンターテインメント競馬場を創造	3 大井競馬場とその周辺に位置する資産のポテンシャルを最大限発揮し、人が集う空間をデザイン
<ul style="list-style-type: none"> <li>新トレーニングセンターの整備に着手</li> <li>SPAT4のシステム進化</li> <li>競馬ファンへの新たな情報発信サービスの開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大井競馬独自の体験の価値を高めるため、競馬場再整備を推進</li> <li>再整備に伴って生じる空間において、新たな体験を生むアリーナの整備に着手※</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベイエリアを象徴するまちの実現を見据えた既存事業の拡充・強化</li> <li>勝島エリアの施設建替えに向けた検討開始</li> </ul>

※ 都市計画公園に指定されている大井競馬場に新たな体験を生む空間を創造する事業として、アリーナが最も有力と捉えて計画・検討を続け、今後事業判断を行ってまいります。

## 都心型エンターテインメント競馬場・魅力的なまちづくりの実現に邁進

### 1 大井競馬場内再整備



- ・大井競馬場の再整備により、勝島エリアの集客力・回遊性向上を図る
- ・お客様や地域社会のみならず馬主、働き手など、すべてのステークホルダーから愛される空間を整備することで、大井競馬の一層の振興を目指す

### 2 ファンエリア



- ・本計画期間においては、競馬のお客様が利用する施設を中心に再整備を行い、心が昂る空間を創造
- ・大井競馬場の新たな顔となり、ワクワク感を高める入場エリアを整備
- ・競馬の新たな楽しみ方を提供する施設を整備

### 3 アリーナ（計画・検討中）

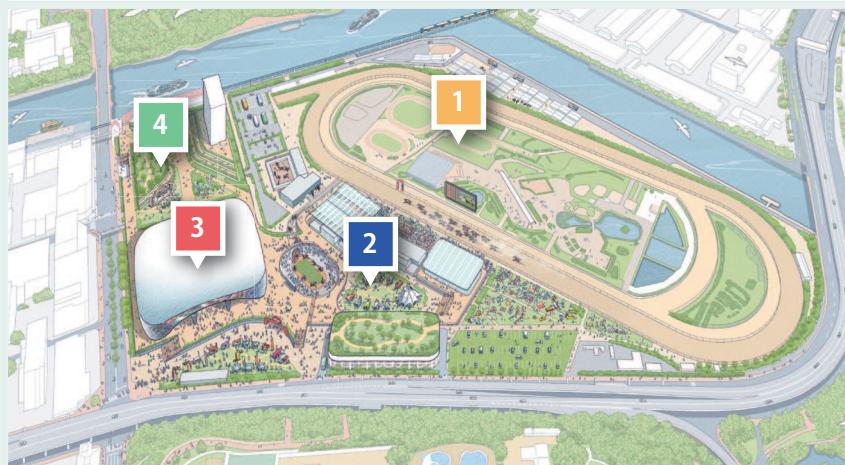


- ・当社グループの成長と将来のまちづくりに資する事業スキームを検討し、事業判断
- ・競馬場・勝島の新たな魅力の創造に向けて、整備を開始

### 4 新トレーニングセンター整備に伴う厩舎移転



- ・場外において、新たなトレーニングセンターの整備に着手（概要は次ページ）
- ・厩舎機能が移転する将来を見据え、まちづくりに資する活用方針を検討



### 周辺エリアの活用



- ・競馬場内だけでなく、周辺エリアを活用し、まちの賑わいを生む新たな事業を検討
- ・魅力的なまちづくりの実現に向けた第一歩を踏み出す

# 中期経営計画2030の重点戦略

## 新たなトレーニングセンター整備

- ・大井競馬の競走馬を集約して調教を行う、  
新たなトレーニングセンターの整備に着手
- ・1,000m級坂路などの調教設備を整え、  
愛馬を預けたくなる施設を目指す
- ・新たなトレーニングセンターで鍛えた競走  
馬たちの白熱したレースによって、大井競  
馬の面白さを高めていく



## デジタル空間の強化

### SPAT4 の進化

- ・2026年にサービス開始30周年を迎える投票サービスとして、これまで築いた信頼を基に、より多くのユーザーから選ばれるよう、さらに安心して使えるサービスへ進化
- ・システムリプレースにあわせて効率的かつ拡張性の高いシステムへ
  - アーキテクチャの変更
  - サーバー等機器の仮想化



### 新たな情報発信サービス

- ・AI・仮想技術などの最新技術を活用し、  
もっと気軽に・もっと簡単に南関競馬を  
楽しめるサービスをリリース
- ・注目のレースや注目馬など、開催日毎に  
見どころを発信するほか、おススメ情報  
やユーザーが能動的に参加できるコンテ  
ンツを提供し、裾野を広げながらファン  
を獲得



※現在開発中のため、画像はイメージ

# 中期経営計画2030における成長戦略

経営戦略			
1 公営競技のモデルケースとしての大井競馬のさらなる振興に注力	2 ランドマークとなり、世界に誇れる都心型エンターテインメント競馬場を創造	3 大井競馬場とその周辺に位置する資産のポテンシャルを最大限発揮し、人が集う空間をデザイン	
投資	人材戦略		
5年合計 <b>約 750 億円</b>	成長を支える 新たな人事制度の確立	これまでとは異なる 新たな事業の展開を見据えた 人材の確保・育成	経営環境の変化に対応する 組織体制の再構築 (本社組織・グループ全体)
2030年の売上・利益目標		財務規律	
売上高 <b>480億円</b> 以上 (年平均 +3%程度)	営業利益 <b>190億円</b> 以上 (年平均 +5%程度)	ネット D/E レシオ <b>0.5 倍</b> 以内	信用格付け <b>A 格</b> 維持
効率性		株主還元	
ROE <b>10.0%</b> 以上維持 (5年平均)	ROIC <b>9.0%</b> 以上維持 (5年平均)	配当性向 <b>35%</b> (基準)	1 株当たり配当金 <b>137 円</b> (目安)